

計画停電の貯水槽水道（受水槽） 管理方法

財団法人 上越環境科学センター

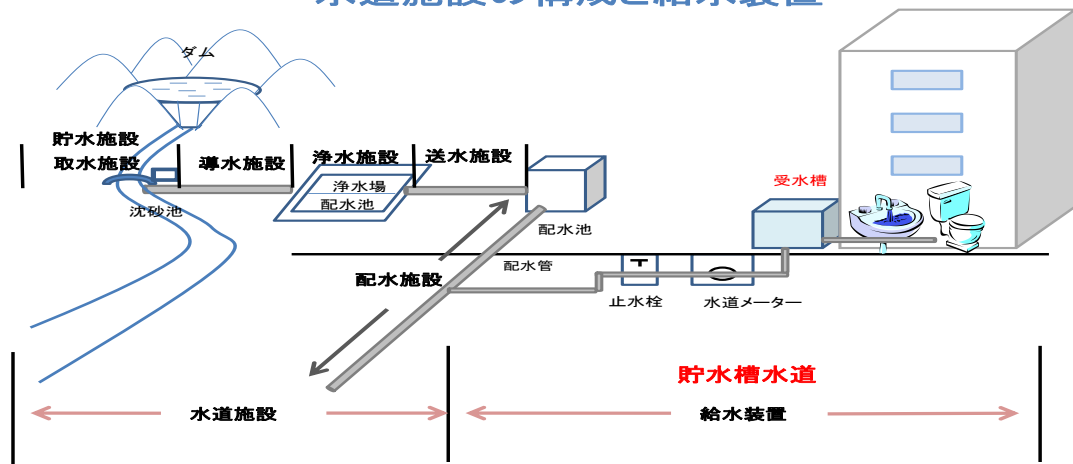
鈴木和雄

計画停電が実施されることによる貯水槽水道に及ぼす影響を最小限に抑える管理の方法として参考にして下さい。

まず、水道施設は以下のような構成になっています。

水道施設は水道局が管理し、圧力管で送水しております。給水装置は設置者が管理し、貯水槽水道となります。水道施設からの送水を初めに受入れる水槽を受水槽と言います。

水道施設の構成と給水装置



受水槽から建物蛇口までの給水には3方式あります。

① **受水槽高置水槽方式**は、一次給水（水道局の圧力）を受水槽に溜めてから、給水ポンプで高置水槽に送り水槽の落差圧で蛇口から使用する。

利点は、停電でも高置水槽に貯水してある分の水は蛇口で利用できるため、使用量を節約するなどして上手に使えばある程度の時間使用できる。

② **加圧方式**は一次給水を受水槽に溜めてから、加圧給水ポンプで給水する。これは、電気を必要とすることから、**停電時は受水槽内の水を蛇口で使用できない。**

停電時でも使用するためには自家発電を繋ぐなどの対応が必要。

③ **高置落差式**は一次給水圧で、高置水槽（受水槽）に溜め、落差で使用する。

利点は、①と同様停電でも蛇口で水を利用できる。欠点は水道圧が下がると使用できなくなる。

